

# 墨田清掃工場だより



## 第41号

発行日 平成28年11月30日  
発行者 東京二十三区清掃一部事務組合 墨田清掃工場  
〒131-0042 墨田区東墨田一丁目10番23号  
TEL 03-3613-5311 FAX 03-5247-5389  
HP <http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp>

### 夏休み工場見学会を開催しました

平成28年7月23日(土)に、当工場で夏休み工場見学会を開催しました。今年も暑い中での開催でしたが、300名を超える方々にご来場いただきました。

今回は、施設内を自由に見学いただくほか、工場職員が説明を行うツアー形式も取り入れ、ごみの搬入から焼却、発電までの流れをご覧くださいました。

また、墨田区の啓発車両「わかる君」を用いたごみの積込や生ごみの水切り実演を行い、体験していただきました。

これからも、より一層地域に根差し、皆様に親しまれる清掃工場として取り組んでまいります。今後とも、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



清掃事業のDVD上映



収集車のごみ搬入を見学



ごみ投入の様子を見学



灰クレーンの見学



ごみの積込体験



水切りの実演

### すみだ消費生活展2016に出展しました

平成28年10月22日(土)・23日(日)に開催された、すみだ消費生活展2016に当工場からも出展しました。「循環型社会の形成に向けて～進めよう、焼却灰の資源化～」をテーマに、展示等でごみの現状についてPRしました。2日間で、約670名の方々に当工場ブースにお立ち寄りいただきました。

清掃一組では、最終処分場の延命化のため、埋立処分量の削減の一環として、主灰(燃えがら)のセメント原料化に取り組んでいます。

今後とも、資源循環型社会を目指し、様々な方策を講じてまいります。



スタンブラリーの様子



工場の模型を使った説明



クイズ解答の様子



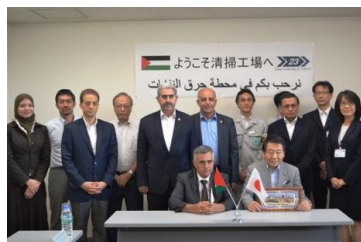
パソコンゲームの様子

### パレスチナの地方自治庁長官が視察に来ました

平成28年7月28日(木)に、パレスチナのフセイン アル・アハジ地方自治庁長官一行が、当工場を視察しました。当日は、清掃一組の西川管理者(荒川区長)が挨拶を行い、長官を迎えました。

パレスチナでは、現在、廃棄物の収集・運搬・埋立てを地方自治体が共同で広域処理を行っています。

清掃一組は、23区共同で廃棄物の中間処理を行っており、その制度・組織についての説明後、当工場を視察していただきました。



フセイン アル・アハジ地方自治庁長官(前列左)と西川管理者(前列右)と一緒に記念撮影を行いました



工場の模型を使った説明を熱心に聞いていらっしゃいました

## 空間放射線量率測定結果

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

測定日	敷地境界				
	東	西	南	北	※
平成28年6月6日	0.08	0.07	0.08	0.07	0.08
平成28年7月4日	0.09	0.07	0.07	0.08	0.07
平成28年8月1日	0.09	0.06	0.08	0.07	0.08
平成28年9月5日	0.08	0.07	0.06	0.07	0.07
平成28年10月3日	0.09	0.07	0.07	0.08	0.07
平成28年11月8日	0.08	0.07	0.08	0.08	0.07

- 測定値は、当組合工場職員が地表1mの高さで測定した値です。  
測定器：日立アロカメディカル(株)製TCS-172B (シンチレーション式サーベイメータ)  
測定方法：指示値の安定を確保した後、指示値を5回読み取り、その平均を測定値としました。
- 測定値は、気象条件等により変化します。
- ※は、灰処理設備から最も離れた地点です。

## 放射能濃度測定結果

測定項目	試料採取日	単位	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計	
主灰	11月11日	Bq/kg	不検出(<11)	27	27	
飛灰	11月11日		33	186	219	
飛灰処理汚泥	※					
汚水処理汚泥	11月11日		不検出(<13)	不検出(<13)	不検出	
放流水	11月11日	Bq/L	不検出(<11)	不検出(<10)	不検出	
排ガス	ろ紙	10月26日	Bq/m <sup>3</sup> N	不検出(<0.16)	不検出(<0.16)	不検出
	捕集水			不検出(<0.56)	不検出(<0.52)	不検出
	活性炭			不検出(<0.32)	不検出(<0.36)	不検出

測定の結果、汚水処理汚泥・放流水・排ガスの放射能濃度は全て不検出、焼却灰等の濃度は埋立処分が可能な範囲でした。

放射能測定結果等は、清掃一組ホームページで定期的に公表しています。

・「不検出」とは、検出下限値未満を表します。( )内は検出下限値を表します。  
※ 他工場で飛灰の処理を行っているため測定していません。

## 排ガス調査結果

調査年月日 平成28年 9月 27日

調査項目	基準値		調査値	単位
	法律	協定書		
ばいじん	0.08	0.02	不検出	g/m <sup>3</sup> N
硫黄酸化物	30	20	不検出	ppm
窒素酸化物	84	60	33	ppm
塩化水素	430	15	不検出	ppm
水銀	—	0.05	不検出	mg/m <sup>3</sup> N
ダイオキシン類	1	—	0.00000020	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

- 「不検出」とは、定量下限値未満を表します。
- 各項目の値は、酸素濃度12%換算値です。
- m<sup>3</sup>N (ノルマル立方メートル) とは、0°C、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- ppmは、100万分の1の割合を表します。
- ng (ナノグラム) は、10億分の1gを表します。
- TEQ (毒性等量) とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値を表します。



## 操業状況概要

平成28年4月から平成28年9月までの当工場の操業状況は、以下のとおりです。

- ごみ搬入量：約73, 504t
- 残灰搬出量：約8, 777t
- 発電量：約32, 977MWh
- 売電量：約22, 460MWh

※数値は速報値です。

## 定期点検を実施します

工場の安全・安定稼働に必要な定期点検を実施します。

実施期間：平成28年12月下旬～平成29年3月上旬(予定)  
作業内容：焼却炉・ボイラ等の清掃点検、一部補修

- ・この期間は、焼却炉、発電、熱供給を停止します。
- ・平成28年12月18日(日)から平成29年3月12日(日)まで、工場見学はお休みとなります。